

事業番号	14 05 04	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	魅力ある高校づくり推進事業費				担当課	部局	教育委員会事務局	
						課・室	教学指導課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開				実施期間	H7 ~		

1 事業の概要

目指す姿	新学習指導要領の趣旨に則り、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するために教育課程編成を工夫し、生徒の能力、適性、興味・関心及び希望進路の多様化に対応するために、各高校は教育課程の弾力化を図り、県は、必要な非常勤講師を配置する。これにより、生徒一人一人に対して、確かな学力を保障するとともに、これからの社会で求められる生きる力の育成を図り、希望する進路を保障することができるようにする。		
現状	新学習指導要領の趣旨を実現するために、教育課程編成における新たな工夫が必要になっている。また、生徒の進路の多様化への対応も一層求められており、各校の教育課程編成における取組を引き続き支援するために非常勤講師の配置が必要である。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 学習指導要領	
	県民との協働による実施：検討中		

事業内容	① 成果目標(H26)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・学力実態調査(高2)での基礎学力定着度(正答率)について、H26年度国語64.3%、数学61.5%、英語61.0%を目標とする。 ・各校の教育課程に関する全日制3年生意識調査の生徒満足度84.2%を目標とする。 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		教育課程改善事業費	直接	新学習指導要領の実施に伴い、新教育課程への円滑な移行を図るため、教育課程の研究を行い、周知を図る。	4,704	5,703	4,767
		カリキュラム編成支援事業	直接	各校における適正な教育課程編成を支援するために、必要な非常勤講師を配置する。	98,815	92,579	100,221
	コンピューター整備事業	直接	普通科を置く県立高校67校に整備した各校41台のPCの内、12校のPC及びソフトを更新する	85,567	84,740	87,696	
	教育課程研究指定校事業	直接				392	
	自立的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究	直接				1,031	
			合計	189,086	183,022	194,107	

事業コスト	区分(単位:千円)					24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算額	前年度繰越								
		当初予算					193,150	189,676	189,086	194,107
		補正予算							-4,391	
		合計(A)					193,150	189,676	184,695	194,107
	Aの財源	国庫支出金								4,954
		県債								
		その他()								
		一般財源					193,150	189,676	184,695	189,153
	決算額(B)					193,150	187,060	183,022		
概算人件費	職員数(人)					0.70	0.70	0.70	0.70	
	概算人件費(C)					5,781	5,781	5,781	5,781	
	概算事業費(B(A)+C)					198,931	192,841	188,803	199,888	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
県の学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)	国65.5% 数61.6% 英60.9%	国64.3% 数61.5% 英61.0%	国65.9% 数61.7% 英61.0%	国達成 数達成 英達成	国65.7% 数61.8% 英61.1%
自校の教育課程に対する生徒満足度	84.1%	84.2%	84.3%	達成	84.3%

目標に対する成果の状況	・国語・数学・英語の基礎学力定着状況並びに、コース及び類型・選択制生徒満足度については、両項目とも目標を達成できた。進学対策講座や基礎学力の確実な定着等に取り組み、学ぶ意欲や問題解決力の向上を目指し、伸びる力を一層伸ばしていく。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の全面実施が年次進行し、各高校の教育課程の編成にも新時代の学力向上に対応するための工夫が求められているので、引き続いての実施と充実が求められる事業である。 ・特に、急速にグローバル化し、変化する社会に求められる力としての「21世紀型学力」を育成するためのカリキュラム編成を促進するとともに、普通科コンピュータ整備に当たっては、生徒自身が主体的に行動、協働することで課題発見や解決方法を見出すための「アクティブ・ラーニング」の学びを通じたICT機器の活用を図るため、新たに7校へタブレット型端末の導入を図っていく。 		